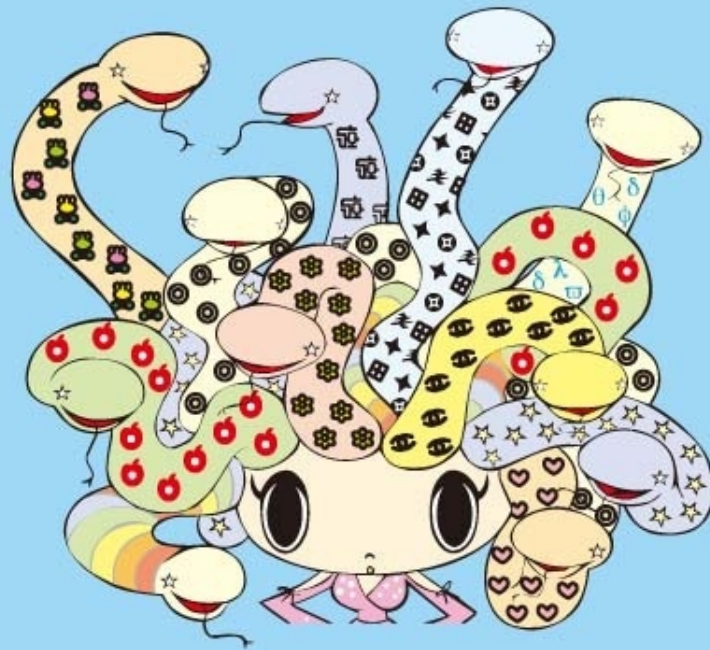


BOOK OF MAKO

by Mai Nakahira



FREE

魔子ちゃんはこうやって誕生した

なかひら まいとスタジオ・エム・オー・ジーが2010年8月にリリースした『魔子ちゃんと七色に光る石』は、リリースされるまで紆余曲折の物語がありました。この『BOOK OF MAKO』では、その裏話やルーツとなった作品を掲載します。『魔子ちゃんと七色に光る石』をダウンロードした方も、まだの方も、ぜひこの本でお楽しみください。

魔子ちゃんが産声をあげたのは2002年のこと。某雑誌に見開きカラーの連載としてスタート。恋愛プロットの4コマまんがとマジカルな暮らしをする魔子ちゃんのエッセイを掲載したコンテンツでした。タイトルは『スネプレ』。スニークプレビュー（覆面試写会＝映画の上映後にお客さんの反応を見るために新作映画を予告無しに上映すること）をもじってスニークプレビュー即ちスネプレになりました。ウィッグをとると、予期しないヘビの頭が出てくるので、このネーミングにしました。

ところが、12回連載の半分の6回目が掲載された直後、雑誌が廃刊になってしまったのです。雑誌も好調で、広告もたくさん入っていたのに今、考えても謎が残る終わり方でした。そういうわけで、この電子ブックに掲載されている第7回めは、初めて、公開される作品です。多分、作品も喜んでいることだと思います。なんとって7年半の歳月が経っているのですから。

そして、この『スネプレ』は、2004年に『魔子ちゃんと七色に光る石』に変身するのですが、そのことについては、また後ほど、書きます。まずは『スネプレ』を心ゆくまでお楽しみください。

2010年10月 スタジオ・エム・オー・ジー





vol.01

スネブレ

created by Sandwich Planet

私を心から
愛してるって
今、言ったじゃない？

だから私も
その気になって……

カツラを
とったのに……

見た目は誠実そうなコ
なのにね…

石になるの、
これで何回目？

What's?

ゴルゴン族ってなに？

ギリシャ神話に登場する頭にヘビの生えたモンスター、ゴルキウスとその姉ケトの娘、ステンノー、エウリュアレ、メデューサの三姉妹は、とても美しい女性だった。中でも特に美しいメデューサは、海神ポセイドンに魅入られる。これを知ったポセイドンの妻アンフィトリアは嫉妬のあまりメデューサに魔法をかけてモンスターにしてしまったという。これに抗議した姉たちもモンスターにされてしまった。魔子ちゃん一族は、この姉たちの末裔ではないかといわれている。



現在のゴルゴン族の暮らしはこんな感じ

Mako's talk

こんにちは、魔子です。私はゴルゴン族の女のコ。彼氏をさがしにこの世界にやってきたんだけど、もうぜんぜん効果なし！私に言い寄ってくる男のコはいるんだけど、みんな遊び目的なのよね。どうしてそんなこと分かるのかって？ だって私がカツラをとると、みんな石になるんだもん。ゴルゴン族には昔から「真実の愛を持つ者は石にならない」という言い伝えがあるの。今はタナカ君ってコがすごく気になってるんだけど、彼もすぐ石になっちゃう。まあ10分もすればヘビのことはすっかり忘れて元に戻るんだけどね。この世界の男のコにとってゴルゴン族の嫉はハードル高いみたい……。

登場人物の紹介

Mako

魔子

ゴルゴン族の女のコ。この世界では、カツラをかぶって頭のヘビを隠している。ヘビはカラーリングやペインティングをすることもできる。ファッションと健康管理はこの世界の女のコの基本ということを知っていて、その2つには惜しみない努力をつぎこんでいる。ビルケースを集めるようになったのもそのせい。ところが、見かけのかわいさばかり気をとられる男のコにはうんざり。好きな男のコには自分の内面を理解してほしいと思っている。

Mas

マク

魔子ちゃんがこの世界で出会った黒ネコ。魔子ちゃんと話ができるので、相談相手であり友だちでもある。魔子ちゃんお気に入りのマグカップのネコに似ているのでマクと命名。



Tanaka

タナカ君

魔子ちゃんが好きなごく普通の男のコ。ルックスもかわいしい性格もやさしいから、誠実そうに見えるんだけど……。



to be continued

魔子ちゃんとタナカ君の関係はどうなるのでしょうか？ 果たして彼女は幸せになることができるのでしょうか？ これからの『スネプレ』をお楽しみに！

Wis Collection

カツラ・コレクション

魔子ちゃんが今一番ハマっているカツラ・コレクションのほんの一部をご紹介します。おしゃれ用だが、カツラをしないと道行く男のコが石になってしまうので必需品でもある。



Supplement

秘伝のドリンク

ゴルゴン族には秘伝の飲み物がある。元気がないときに飲むとよく効くそう。なくなると実家に帰って補給しているらしい。固形のモノは、かわいしいビルケースに入れて持ち歩く。



タナカ君が石になるってことは
心の底から私を
愛していないってことよね



vol.02

スネプレ

PRODUCED BY SANDOCH PLANET

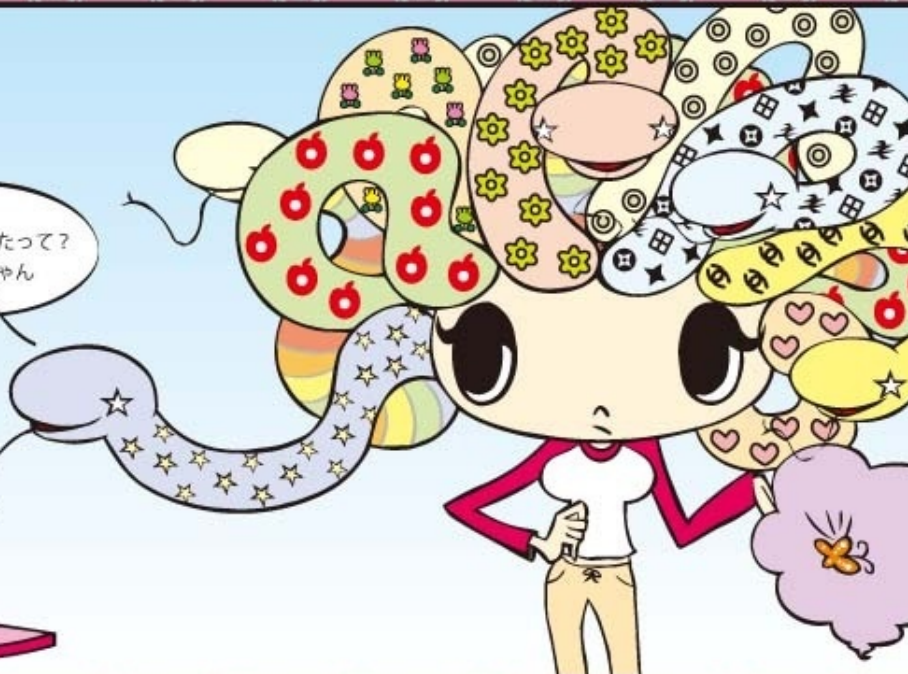
そんなことじゃ
私は幸せになれっこないわ



たとえ石にならなかったとしても
そのヘビ頭じゃ嫌われるかもよ



ヘビがどうしたって?
黒ネコちゃん



前号までのあらすじ●この世界の果てはゴロンゴロンの穴のつらへびを恐るる日になってしまふ。しかし一帯には昔から「真珠の裏をばつ頭は石にならぬ」という言い伝えがあるという。黒ネコちゃんはこの言い伝えを信じて、黒田あなが、K-2の作りに来てみた。みんなが石にならぬように黒田あながつらへびをたべている。

マサプレ

MAKO'S talk

もう遙か昔のこと、私たちの一族は、このヘビの頭で「明るい太陽のもとでは暮らせない」と思っていたの。「なんでこんな姿で生まれてきたんだろう」って悩んでいたんだって。都に住む他の一族はもちろん、森に住む動物や妖精たちも私たちの姿を見て逃げていっていたそうよ。だから私たちは家に閉じこもって「何かいいことはないかなあ」なんて、トカゲの骨で占いばかりしていたんだって。☑

こんにちは、魔子です。世の中にはいろんなコンプレックスで悩んでいる人がいるけど、私たちゴルゴン族も昔は、このヘビの頭で悩んでいたんだって。今日はそのお話をするわね。



ところが3000年ほど前に、マサラ・ガラームっていう一人の若い女のアーティストが私たちの都にやってきたの。その人もゴルゴン族でヘビの頭を持っていただけで、なんとヘビには花柄やささいな色がペインティングされていたの。そのキツク感じる感じが、都中の人気者になったの。彼女はその後、サロンを開いて、他のゴルゴン族の女の首にもペイントをしてあげたのよ。それ以来、部屋にこもってトカゲの骨で占いばかりするようになったゴルゴン族の女の首は一人もいなくなっただって。あれから3000年、今じゃこのヘビ頭で悩むコなんか一人もいないわ。このカラフルでキュートなヘビの頭にはそんな歴史があるのよ。



左・マサラ・ガラームの肖像。彼女は現在でも尊敬されている。
下・部屋にこもるのをやめて都に出かけるようになった昔の女の首たち。



What's?

魔子ちゃんはゴルゴンの末裔、サミー族出身

魔子ちゃんは、ギリシャ神話に登場するゴルゴン族の末裔、サミー族の都からやって来た。ゴルゴン族が栄えたのは紀元前だから、それから徐々に身分が落ちたというわけ。現在、サミー族はこの地球のどこかに暮らしている。でも他の一族同様、呪いの結界に守られているために人間はその場所に行くことさえできない。これは結界を奪ったお守り、この複製品がサミーの都の観光みやげとして売られている。未開の地に入った冒険家が文明の形跡らしき石や木片を発見することがあるが、どこかの一族の頭が落ちていた観光みやげかも。

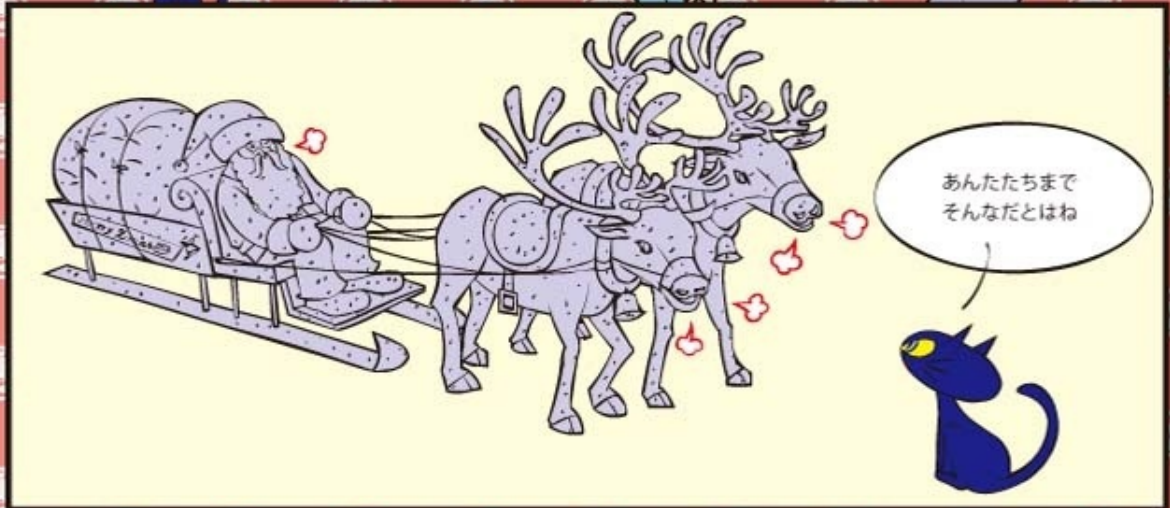


Stamp

スタンプ

ヘビに描く模様も種類はたくさん、ペイントの仕方にも流行がある。今、流行っているのはスタンプ。だいたい100年前くらいでスタンプが流行ったり、手書きが流行ったりするそうよ。





マネアプレ



こんにちは、魔子です。もうすぐクリスマスね。この世界では、クリスマスの夜に恋人や友だちがいなくてこの世の終わりみたいに思っているコが多いのね。でも私たちの故郷では、そんなことはないよ。今日は、ゴルゴン族の12月の過ごし方についてお話しするわね。

Mako's talk

ゴルゴン族にはクリスマスっていうのはないんだけど、年末になると友だちや家族が集まってホーム・パーティーを開くことが多くなるわ。もう今年も終わりだと思つと、ハメをはずして楽しみたいものね。それほどこの世界も同じみたいね。☑



flower & incense

花&お香

魔子ちゃんの故郷サミーの国には、この世界にはない花や草花がたくさんある。これらはそのまま楽しむよりも、お香やドリンクなどに加工することが多い。そのほうが、より効果もひきだせるらしい。1万年ほど続いているゴルゴン族の生活の知恵なのだ。



私たちは、12月の前半はパーティーをしたりして思い思いに過ごすけど、ちょうどクリスマス時期になると必ずすることがあるの。それは月のきれいな夜にひとりでお香を焚いて瞑想すること。瞑想は、パーティーで浮かれすぎた気持ちや、悩んでいる気持ちを落ち着かせる効果があるの。この世界の人たちって、クリスマスの晩だけを盛りあげようとしているけど、私たちはそんなことはほしくないの。瞑想の後は、おまじないをかけた花のバスタブに浸かって

1年の疲れを癒すのよ。あなたも今年のクリスマスは私たちのように過ごしてみれば？ 浮き足だった世間の喧騒からちょっと距離をおくのもいいかもね。

What's?

ゴルゴン族のおまじないって？

ゴルゴン族には、今もまじない師がたくさんいるらしい。彼らは山の上に住んでいて、いつも修行に明け暮れているそう。まじない師は不思議な力を持っていて、水や樹皮や葉などいろいろなモノにおまじないをかけて、そのモノの力を引き出すことができるという。今回登場したバスタブに入れる花もそのひとつ。花には「正直な気持ち」になる力があるので、おまじないでその力を引き出して使う。しかし、自分の心が堅くなっていると効果はないので、瞑想でリラックスしてから花のバスタブに入るそう。



右・おまじないのかかった花のバスタブは年に一度の贅沢だそう。魔子ちゃんと友だちになれば、分けてもらえるかも。



あらすじ

下心のある男の口は、魔子ちゃんの腰のヘビを見ると石になってしまう。しかし10分もすればヘビを見たことは忘れて元に戻る。魔子ちゃんはゴルゴン族に昔から伝わる「真実の愛を持つ者は石にならない」という言い伝えを信じて、彼をさがしにこの世界にやってきた。

ねえ、タナカ君は私のこと本当に好きなの？

vol.04
スネプレ
CREATED BY SANDWICH PLANET

© SANDWICH PLANET / STUDIO M.O.G. All Rights Reserved

例えば君が赤の他人だったとするだろう……

街で君とすれ違ったら、絶対に振り向く自信があるよ

いつでも振り向いてくれてかまわないわよ！

こんにちは、魔子です。男のコって、いったい何を考えてるのかわからないわ。タナカ君は、ほんとに私のことが好きなのかしら？ それともタナカ君を信頼しない私が悪いのかしら？

MAKO'S TALK

真実の愛を持たない男のコは、頭のへびににらまれた毒蛇に石になってしまう。相手の本心がひと目でわかるのは便利なんだけど、逆にショックも大きいわね。タナカ君がいつも簡単に石になっちゃうから、ほんとに私のことが好きなのか嫌いなのか時々わからなくなるの。でも、普段は一緒にいてすごく楽しいし、嫌いになることなんかできないし。相手の本心は一体どこにあるんだろう？ っていうもどかしい気持ちは誰にだってあるよね。そんな気持ちも一緒に恋愛を楽しめればいいんだけど、なかなかそうはいかないわ。

いろんな気持ちがこんがらがって、ワケがわからなくなった人にはフォルモス・パーティーをすすめるわ。フォルモス・パーティーっていうのは、私の故郷で2000年も前から続いているホーム・パーティーのこと。主に独身の男女が参加するパーティーで、もちろん恋人のいる・いないは関係なく、男のコと女のコが交流する場として、1月から3月くらいにかけて開かれるの。主催者は、まず参加者を募って、この世界にはない

香水で作ったお札を配ります。お札には開催の日時や会場名が書いてあるの。最近のレストランでやるのが流行りね。参加者は小さなお菓子をひとつ持つのがルールなのよ。この丸くてかわいいお菓子をきれいなトレイに乗せて、パーティーを彩る飾りにします。そこで気軽な会話を楽しむの。☑

言い伝えによると、フォルモスという伝説の美女が始めたということになっているわ。資産家でもあったフォルモスは、自分に言い寄ってくる高貴な男達が本当に自分のことを好きなのか、それとも資産を目当てにしているのか、だんだんわからなくなってきて、不信任感だけを募らせていたんだって。そんなフォルモスを田舎の叔母さんがホーム・パーティーに誘ったの。村の独身の男女が気軽に集まって、普段着の会話を楽しむパーティーで、フォルモスは久しぶりに楽しいひとときを過ごしたそう。そして、高貴な男達の、大きな求婚の言葉よりも、この普段着の会話の中で感じた愛こそが大事なんじゃないかって悟ったそうよ。そのとき、初めて恋愛のもどかしさを解放されたフォルモスは、お茶のパーティーを自宅で主催するようになったそうよ。彼女はそこで出会ったパティシエと結婚したんだって。彼の得意料理が丸い形をした小さなお菓子だったわけ。そういえば、この世界にもフランスに同じような風習があるそうよ。11月26日は「カトリヌ・デー」と呼ばれていて、独身女性の日なんだそう。独身の女のコが男のコと出会うためにパーティーを開く習わしがあるんだって。恋愛にのめり込んだり、ちょっと距離を置いたりしながら、自分の恋愛を見つめ直すのもいいかもね。

What's? パーティーお札って?

このパーティーのお札は、この世界にはない素敵な香りのする香水でできている。お札に描かれている不思議なマークは伝統的なもので、独身男女の幸せを願ってデザインされたものだよ。まわりにはへび、真ん中にはゴルゴン族の女神、四方には太陽や月、星、風が美しくレイアウトされている。この世界の古代遺跡にも似たようなデザインをたくさん見かけるが、ゴルゴン族の方が遙かに起源が古い。昔はこのマークが何を意味しているか気にとめることはないが、このパーティーにはこのお札でないと、どうもしくりかないらしい。ゴルゴン族の世界は、独特の素敵なデザインに満ちあふれている。



上・フォルモスの肖像、箱美人。左・フォルモスの伝説は有名な、いろな本でも取り上げられている。

あらすじ

下心のある男のコは、魔子ちゃんの頭のへびを見ると石になってしまう。しかし10分もすればへびを見たことは忘れて元に戻る。魔子ちゃんはゴルゴン族に昔から伝わる「真実の愛を持つ者は石にならない」という言い伝えを信じて、彼をさがしにこの世界にやってきた。

Sweet お菓子

このパーティーに持ち寄るお菓子の形は、フォルモスの恋人が得意だったことから、丸いお団子状と決まっている。それ以外にも球体は「完全」を表している。素敵な恋人に出会えますように、という願いをこめて、「完全」を表す球体がもてはやされている。



どうして恋人だって
公言しないの？

vol.05

スネプレ

CREATED BY SANDWICH PLANET

© SANDWICH PLANET / STUDIO M.O.G. All Rights Reserved.

じゃ、聞くけどホントに
私たち心の底から
愛し合ってるのかしら？

それがはっきりしないのに
恋人だなんていったら
ウソになるでしょ!?

ボクはウソでも
かまわないんだけど……

マネフレ

こんにちは。麗子です。一体タナカ君はどういうつもりなのかしら？ 私にはタナカ君の気持ちがわからなくなってきたわ。

MAKO'S talk

今回はポロンについてのお話。
「ポロン」はゴルゴン族なら今では知らない香はないというくらい有名な香水の名前。今から3000年前、この香水をゴルゴンに広めたのがポロンという女の。ポロンは、ちょっとしたことでまわりの者に対して不信感を抱いてしまい、いつも思い悩んでいた。実は彼女のファミリーは心にもないことを言っているんな国の国王に近づき、宝を奪っていったゴルゴンきっての大盗賊。そのことが彼女を長い間、苦しめていたのね。そしてある日、ついに両親は囚われてしまったの。ポロンは田舎の親戚に引き取られていったんだけど、彼女の心の傷は癒えることはなかったわ。そこで彼女の叔父さんは山で一番のまじない師にポロンを預けて、なんとか人間不信を解いてくれるようお願いしたの。まじない師は、彼女を岩穴に連れて行き、「ここで修行しなさい」と言ったんだって。そこには美しい花がたくさん咲き乱れ、まじない師たちが花のエキスを抽出していたの。ポロンはまわりの者と言葉を交わすことなく何年も何年も花のエキスを抽出したそうよ。でもね、数年後にポロンと再会した叔父さんと叔母さんがびっくりしたの。なぜならポロンの性格はちょっとも変わってなかったから。ところが親戚の心配をよそに、花の香りに魅せられたポロンは、香水店をオープンするために町に出ていったの。みんなは一斉に反対したわ。だって他人を信用しないポロンがお店なんかやれるわけはないものね。でもポロンは一人で村をあとにしたの。たしかにお店は最初こそあまり繁盛しなかったけど、ポロンの香水は、その香りに魅せられた人の口コミでどんどん広がっていったの。ゴルゴンの世界にその名が知れ渡るまで、そんなに時間はかからなかったわ。そして年老いたポロンは死ぬ間際に、意味深なことを自分の弟子たちに言ったの。「言葉にすると大抵のことは嘘になるけど、香水の香りは決して嘘じゃない」ってね。この言葉をめぐっては、今になっても「ポロンは香水の香りしか信用しなかった哀れなゴルゴンだ」とか「彼女の言った言葉には愛の本質が隠されている」とか、みんな好き勝手に言い合っているわ。みなさんはポロンの話をどう思いますか？



perfume

ポロン香水店

香水発祥のお店として今でも超人気の香水メーカー。中でもポロン自身をイメージした香水「ポロン」は女の心たちに圧倒的な人気。まじない師の花のエキスをヒントなので、製品は天然の植物100%にこだわっている。昔からあるポロンをイメージした伝統的なマークも素敵。



What's?

ゴルゴンの花

この地球上にはまだまだ未開の地があり、日々新しい植物や動物が発見されている。ゴルゴン族の土地はこの世界の人間にとっては未開の地。結界があるため人間が入ることはできないが、見たことがない植物がたくさんあるようだ。特に花は豊富で相当珍しいものがあるらしい。この花のおかげで、不思議なデザインがたくさん生まれたという。摩訶不思議な形のみずみずしい花々を見てみると、ゴルゴン族の世界に独特な文化が花開いたの理由が分かる気がする。



※ゴルゴン族の国は、そのまじない師が作った地獄にせられ、人間は入ることができないといわれています。

あらすじ

下心のある男の心は、麗子ちゃんの顔のへびを見ると石になってしまう。しかし10分もすればへびを見たことは忘れて元に戻る。麗子ちゃんはゴルゴン族に昔から伝わる「真実の壺を持つ者は石にならない」という言い伝えを信じて、彼をさがしにこの世界にやってきた。

vol.06
スネプレ
CREATED BY SANDWICH PLANET

ストレートに私のことを
どう思うって聞いてみれば？

タナカ君の本心を知る
一番有効な手段はなんだと思う？

じゃあ、
“私のことをどう思うって聞くから
本当のことを答えなさい
さもなければあんたを石にしてぶっ壊す” っ
ていってみれば？

たとえいい答えが返ってきたとしても
信用できなかつたらどうしよう？

© SANDWICH PLANET / STUDIO M.O.G. All Rights Reserved.

うーん……

……………

それ、いいアイデアかもね

マコフレ

こんにちは、魔子です。うまくいかないことだらけでむしゃくし
やすることが多い今日この頃、こんな時は息抜きなくちゃね。

MAKO'S TALK

4月は新しいことが始まる時期。でもこんな時に限って憂鬱になっ
たりするのよね。このなんとなく不安な感じっていうのが、やっかいよ
ね。そんな時は考えていても仕方ないよね。実は私たちの世界でもこ
の時期は同じようなことがあるね。今回はゴルゴンに伝わる習慣を紹
介します。この習慣はいつ頃から始まったのかわからないぐら
い昔からあるの。この季節になると都近くの山の中間に「ブチ
修行場」がオープンします。「ブチ修行」とは、一般のゴル
ゴン向けに作られた修行コースのこと。まじない師たち
が自然を知るために歩いてきた山道が、健康にもいいこ
とが分かって一般にも広がったの。まず、修行場までの
山道を歩くハイキングコースからスタート。このコースはきつ
すぎず楽すぎず、とてもよい具合なの。30分ほど歩くと花畑がある
の。ここが修行場の入り口よ。この花のつぼみをついでつ
くと丸い実が飛び出すので、これを捕まえて食べ
ます。この実は体の毒を排出する効果
があるんだって。中に入るとかわいい小
さな滝があつて。みんなこの滝に打たれ
ます。この滝は温泉なので温かくて
気持ちいいのよ。滝が終わると、温泉
に浸かってのんびり。その後、菓子の
ドリンクを飲んでおしまい。帰りには
リュックに薬を詰めて帰ります。
この習慣には宗教的な意味合い
はまったくなく、一種のリラク
ゼーションってノリでみんな楽
しんでいます。こっちの世界で
いうとお寺での体験合宿
というよりも、高原のホ
テルで山に登ったり、乗
馬をやったりしながら通
ごすっていう方に近いか
も。ゴルゴンでは少し体
調が悪いときは医者
に行くより「ブチ修行」
をやった方がいいなん
て人も少なくありませ
ん。私も気分転換にそ
ろそろ行くからしら。



What's?

「ブチ修行」って?

頭にへびを持つゴルゴン族は、人間や動物に認
められることも多い。結界を作らず人間や他の
魔物と共存していた深い昔は、ごく普通に暮ら
していたのに理解されないこともあったという。
そんな人間には計り知れないコンプレックスを
抱えた彼らは、その分ストレスも抱えている。
だからこそゴルゴン族には、ストレスを解消す
る様々な方法が伝授されている。この「ブチ修行」もそのひとつ。どこの郡にも、必ず近くの山に修
行場が作られているらしい。修行場が充実している郡ほど評判がよく、人々が集まり栄えるそうだ。
修行コースは、まじない師たちが何世代もかけ、移り変わる自然に合わせて管理修正しているので、
常に最高の完成度なのだという。



DRINK!

薬草ドリンク

この世界にはない植物
から作られたドリンク
なので、どんな
味かは見当がつか
ないが、けっ
こうおいしいら
しい。



あらずじ

下心のある男の口は、魔子ちゃんの顔のへびを見たと石になってしまふ。し
かし10分もすればへびを見たことは忘れて元に戻る。魔子ちゃんにゴルゴン族に
替から伝わる「真実の愛を持つ者は石にならない」という言い伝えを信じて、
彼をさがしにこの世界にやってきた。

あれ、今日
タナカ君とデートじゃ
なかったの？

vol.07

スネプレ

CREATED BY SANDWICH PLANET

困ったことに
この魔法陣から
一歩も動けないのよ

(c) SANDWICH PLANET / STUDIO M.O.G. All Rights Reserved.

こんな大事な日に
一体、何してんの？

恋のおまじないに
決まってるじゃない！



マノブレ Mako's talk

今回はゴルゴンの「おまじないグッズ」のお話。おまじないっていうと、子供っぽいイメージがあるかもしれないけど、ゴルゴンの女の口は、おまじないが大好きなの。「恋人に出会えますように」とか「お金持ちになれますように」とか他愛ないものなんだけど、それぞれの顔に効くデザインをプリントしたメダルや鏡、紙製のカードを持っていると願いが叶うというわけ。ゴルゴンにはおまじないグッズ専門のデザイナーがいて、毎年いろんなグッズが売り出されています。☑



おまじないデザイナーになるのは、ちょっと不思議なコたちです。彼らは、たいていの場合、小さい頃から星や花のイラストをよく落書きをしています。描いた絵をもらった人にラッキーなことがおこると、そのコはおまじないデザイナーの素質があるといわれているの。おまじないデザイナーはゴルゴンでは憧れの職業なんだけど、実は彼らにはいろんな苦労があります。最近注目されているデザイナーのエメラルドは、小さい頃から不思議なマークを描いていたんだって。すると彼女の絵をもらった友だちが、旅行先の川でおぼれかけたところを偶然通りがかった人に助けられたんだとか。

その話が近所で話題になって、彼女にイラストを描いてもらおうという人々がやってきたの。おまじないデザイナーの素質のある子供は、大人にはちやほやされる反面、同年代の友だちからは嫉妬されるという一面もあるよね。「あなたは特別よ。私たちとは違うわ」と冷たくされることが多いの。自分は普通の女のコだと思っても、描くイラストには不思議な力があるんだから複雑よね。エメラルドは、ハイティーンになってから、特別な力がある自分がイヤになり大きなスランプに落ちて、デザインのアイデアが全く浮かばなくなったんだって。すると、それまで彼女に親切にしていた人たちがたくさん離れていったそうよ。彼女は人々が離れていったとき、初めて自分の能力は、人々に必要とされていたことを自覚できたの。能力を持っていることでイヤな目に会おうけど、この力によって自分

What's? おまじないは不滅?

ゴルゴンには、山で修行をする本格的なおまじない師から、身近なおまじないグッズ・デザイナーまで多様な「おまじない」であふれている。なんだか古くさい世界のようなが、日本にもおまじないっぽい風習はたくさん残っている。たとえば岡山県には今でも母親が近年の子供にマフラーのような「長いもの」を贈る風習がある。昔はマフラーではなく帯を贈ったという。どうして長いものなのかは不明だが、身につけると厄払いになるんだとか。これも一種のおまじないといえる。たとえ気休めだとしても、これで厄が払えると思うと気持ちが楽になるのだから。おまじないはゴルゴンに限らず、世界各地に息づいているのだ。



こんにちは、魔子です。タナカ君は私のことをどう思ってるのかしら? おまじないでもしたくなる気分だわ。



Charm Shop おまじないショップ

ゴルゴンではおまじないは1年で効果がなくなると思われていたのが、次々と新しいグッズが生まれている。アクセサリー感覚でインテリアに使ったり、バッグに入れたりとなかなか楽しそう。



は生かされているんだってね。それから彼女はイヤなことがあっても決してデザインをすることをやめないと心に決めたんだって。それから彼女は、今までのようになんとなくではなく、人々を幸せな気持ちにさせるようなおまじないのデザインしようと真剣に取り組んだの。一度なくした信頼を取り戻すのは大変だったけど、努力して再び人気者になったのよ。エメラルドみたいな力がなくても、なんとなく自分は「何かに生かされているのかも」って思うことってあるよね。不思議な感覚なんだけどね。

あらすじ

下心のある男の口は、魔子ちゃんの顔のへびを見ると石になってしまう。しかし10分もすればへびを見たことは忘れて元に戻る。魔子ちゃんはゴルゴン族に昔から伝わる「真実の愛を持つ者は石にならない」という言い伝えを信じて、彼をさがしにこの世界にやってきた。

そして『魔子ちゃんと七色に光る石』が誕生した

『スネプレ』が終了した翌年、とにかくこの物語を完結させようと、絵本をかくことになりました。そこで問題になったのがタナカくんです。魔子ちゃんは、自分の頭がヘビだということに少なからずコンプレックスを抱いています。相手がその事実も受け入れないと真実の愛を獲得することはできません。しかしそれではあまりにも身勝手な話になってしまいます。男の子も魔子ちゃん同様、コンプレックスを持っていて、逆に魔子ちゃんがそれを受け入れるかどうか試されるべきです。そうして生まれたのがドラゴンの男の子です。

『魔子ちゃんと七色に光る石』は、出版社、レコード会社、代理店などなど、いろんな方が興味を持ってくれました。英語に翻訳してニューヨークにも持っていきました。ところが、なんとなく話が立ち消えになってしまうのです。結局、この作品が日の目を見ることはありませんでした。

それから6年後の2010年、電子ブックの打ち合わせの席で、実験的に、魔子ちゃんをiPadに取り込んでみたら、見事にはまったのです。iPadの中にいる魔子ちゃんは、まるで電子メディアの登場を待ち続けていたかのように、キラキラと輝いていました。とうとう魔子ちゃんは居場所を見つけたのです。

足かけ8年の紆余曲折を経て、ようやく魔子ちゃんが活躍できる時代になったようです。これからも魔子ちゃんを大事に育てていきたいと思えます。

2010年10月 スタジオ・エム・オー・ジー



魔子ちゃん^と
七色に光る石

On one night with a crescent,
she baked a big cake for the boy.
Unfortunately,
the old oven burned and a fire started.
Just then, the boy came from outside the window.
He took Mako and they escaped through the skylight.



After that many nights with a crescent passed.
The boy never came to see Mako again.



Mako was feeling left alone after the boy stopped visiting her.
And, as if to vent her frustration,
she would go out to town
and take off her wig in front of boys who made advances to her.
"I wish all boys will turn into stones.
I'm alone anyway. It doesn't really matter to me
if all the boys in the world turn into stones."
Mag the black cat was the only one to watch her anxiously.



On the roof of a building,
there lived a girl named Mako
with purple hair.



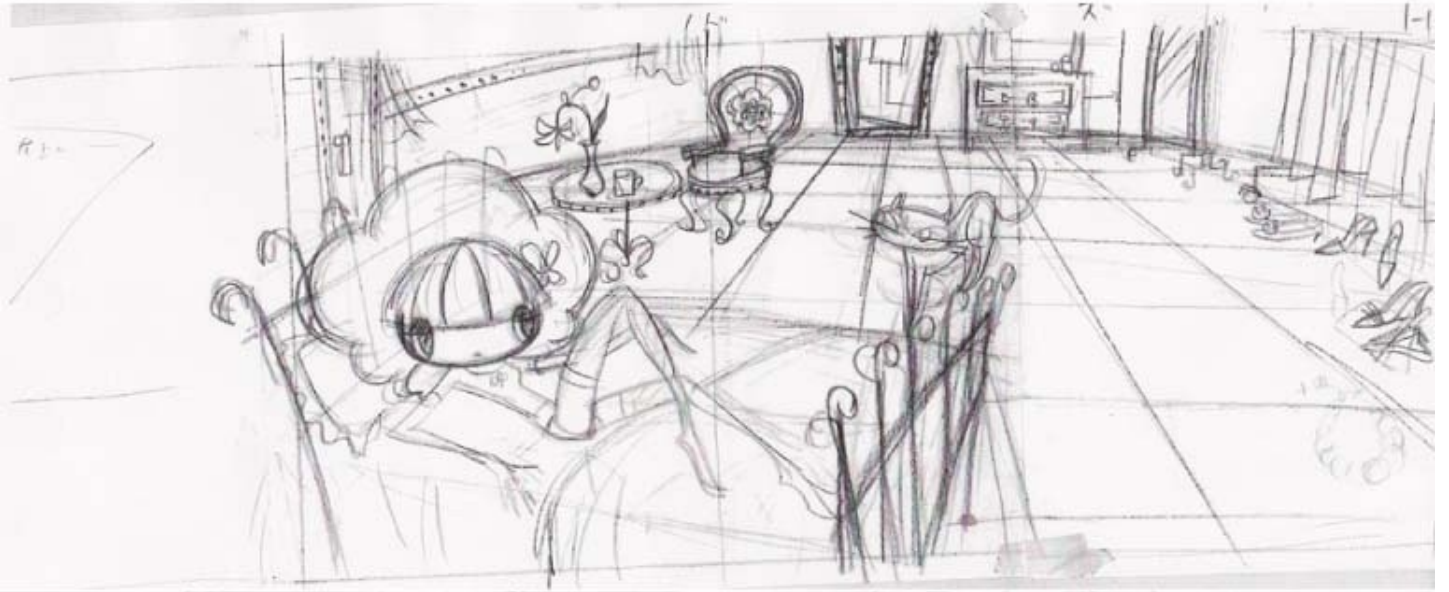
After the boy left,
Mako got relieved and took away her hand
from the wig, which she had been holding.
She had to do so
because every human boy turned into a stone
when he saw the snakes on Mako's head.
"I'm going to regret all my life
if I change that lost boy into a stone."
Mako felt sad.
Mag, a black cat, was the only one
that knew how sad she felt.



After that
the boy came to see Mako on every night
with a crescent.
He would play with pillows,
water pistols, darts, cards or checkers.
Mako stopped caring about
where he came from.
She really enjoyed spending time with him.



魔子ちゃんと七色に光る石 (2010/iPhone&iPad App)



魔子ちゃんと七色に光る石

絵と文：なかひら まい

翻訳：佐藤由美

ジャンル：電子書籍、絵本

対応機種：iPhoneOS3.2以降搭載のiPodTouch, iPhone, iPad

言語：ENGLISH、日本語

販売エリア：World Wide

価格：US 2.99 EURO 2.39 UK 1.79 JPN 350

発売：スタジオ・エム・オー・ジー

販売：App Store

[こちら](#)をクリックするとAppleのサイトへジャンプします。

画像解像度の高い『BOOK OF MAK0～魔子ちゃん読本』は

<http://studiomog.ne.jp/lineup/free/mako>

よりダウンロードできます。

なかひら まい（作家・クリエイター）

セツ・モードセミナー卒業後、
雑誌を中心にイラストレーターとして活躍。

2005年12月

『[スプーと死者の森のおばあちゃんスプーの日記～](#)』で
作家デビュー。

2007年6月『スプーの日記2 暗闇のモンスター』を、

2008年1月『スプーの日記3 地下鉄の精霊』を発表。

2009年12月イラストクリエイターHARIKENとの

アート・ユニットILLUST CREATORS, INC.を結成。

年3回のアート・エキシビションを開催。

公式サイト <http://studiomog.ne.jp/nakahira/>

■著作

2005.12 『スプーと死者の森のおばあちゃんスプーの日記～』（トランスビュー）

2007.06 『スプーの日記2 暗闇のモンスター』（トランスビュー）

2008.01 『スプーの日記3 地下鉄の精霊』（トランスビュー）

2010.08 『[魔子ちゃんと七色に光る石](#)』（スタジオ・エム・オー・ジー/APP）

2010.10 『[スプーの日記エクストラ シルクハットの幽霊](#)』（スタジオ・エム・オー・ジー/pdf/FreeDownload）

2010.10 『[BOOK OF MAKO 魔子ちゃん読本](#)』（スタジオ・エム・オー・ジー/pdf/FreeDownload）

■展覧会

2009.12 ILLUSTRATORS.INC.～精霊とモンスターの集う部屋

2010.03 ILLUSTRATORS.INC.～MONSTERS'CAVE

2010.08 ILLUSTRATORS.INC.～MAD PANDAとスプーの日記展

■アパレル

2010.05 ひとりぼっちのねこシリーズTシャツ (Bambi)

2010.08 子鹿Tシャツ (Bambi)



© Mai Nakahira/STUDIO M.O.G.